PORT OF THE YEAR 2026

ポート・オブ・ザ・イヤー2026の投票を10月1日より開始しました

概要

情報誌「港湾」では、読者の投票により、港湾の利活用やみなとまちづくりなどの各種の港湾活動や、港に関する話題づくりにその年で最も優れ、我が国の港湾・臨海部の活性化に寄与し、「みなとの元気」を高めた港湾を選定し、「ポート・オブ・ザ・イヤー」として表彰しています。

自らの港をPRする「推薦書」を8月1日から9月4日まで公募し、今年は3港から「推薦書」をいただきました。投票のご参考となるよう当協会HPに掲載し（次ページにも掲載）、投票は10月1日より開始しています。

対象港湾

重要港湾、地方港湾を問わず全国すべての港湾が投票の対象となります。

選定基準

港湾管理者をはじめとする港湾関係行政機関、港湾利用企業、港湾を活動の場とするNPOや市民団体などが、地域の特性を活かしたユニークで工夫に満ちた活動や取り組みを行った結果、「みなとの元気」が著しく高まり、他の港湾にとっても大いに刺激になった港湾や、我が国港湾界においてエポックメーキングな取り組みが行われた港湾が対象となります。

投票方法

①投票される方は、日本港湾協会ホームページ「ポート・オブ・ザ・イヤー」（https://www.phaj.or.jp/POTY/index.html）より必要事項を記入の上、送信して下さい。下のQRコードからもアクセスできます。

②ホームページからの投票ができない場合は、44ページの投票用紙に必要事項をご記入いただき、郵送にて下記住所までお送り下さい。

【注意事項】●同じアドレスからの投票は1回のみとなります。
複数回の投票をいただいた場合は無効となりますのでご了承下さい。
●FAXでの投票受付は行っておりません。

締め切り：令和8年11月30日（月）必着

［お問い合わせ・郵送先］
公益社団法人日本港湾協会
情報誌「港湾」ポート・オブ・ザ・イヤー 2026 係
〒107－0052
東京都港区赤坂3－3－5 住友生命山王ビル8F
TEL：03－5549－9575

発表・表彰等

受賞港は、令和9年1月21日開催予定の「ポート･オブ･ザ･イヤー 2026」表彰式において発表いたします。

「ポート･オブ･ザ･イヤー 2026」に選ばれた港湾は、当協会会長から賞状及び盾が授与されるほか、情報誌「港湾」にて紹介されます。また、当協会発行のポケットブック「数字でみる港湾2027」の表紙と裏表紙に選ばれた港湾の写真を掲載します。

参考：これまでの受賞港

2003年
名古屋港［愛知県］
準ポート・オブ・ザ・イヤー
石垣港［沖縄県］

2004年
大船渡港［岩手県］

2005年
姫川港［新潟県］

2006年
中津港［大分県］

2007年
該当なし

2008年
大竹港［広島県］

2009年
該当なし

2010年
輪島港［石川県］

2011年
船川港［秋田県］
【特別賞】
秋田港、能代港、酒田港、新潟港

2012年
十島村及び三島村［鹿児島県］

2013年
八幡浜港［愛媛県］

2014年
福良港［兵庫県］

2015年
細島港［宮崎県］

2016年
酒田港［山形県］

2017年
境港［鳥取県・島根県］

2018年
紋別港［北海道］

2019年
釜石港［岩手県］

2020年
佐渡島の港［新潟県］

2021年
川内港［鹿児島県］

2022年
秋田港［秋田県］

2023年
厳島港［広島県］

2024年
小樽港［北海道］

2025年
青森港［青森県］